



個人投資家さま向け説明会

ソフトバンクの事業と成長戦略

ソフトバンク株式会社
2019年10月4日

本日のご説明

1. ソフトバンク株式会社概要
2. 事業内容の紹介
3. 新領域の拡大
4. 業績
5. 株主様への還元

ソフトバンク株式会社の概要



SoftBank

事業内容

移動／固定通信事業
ICTソリューションの提供

代表取締役
社長執行役員 兼 CEO

宮内 謙

売上高

4兆6,568億円*
(2018年度)

従業員数

37,466人
(2019年6月末)

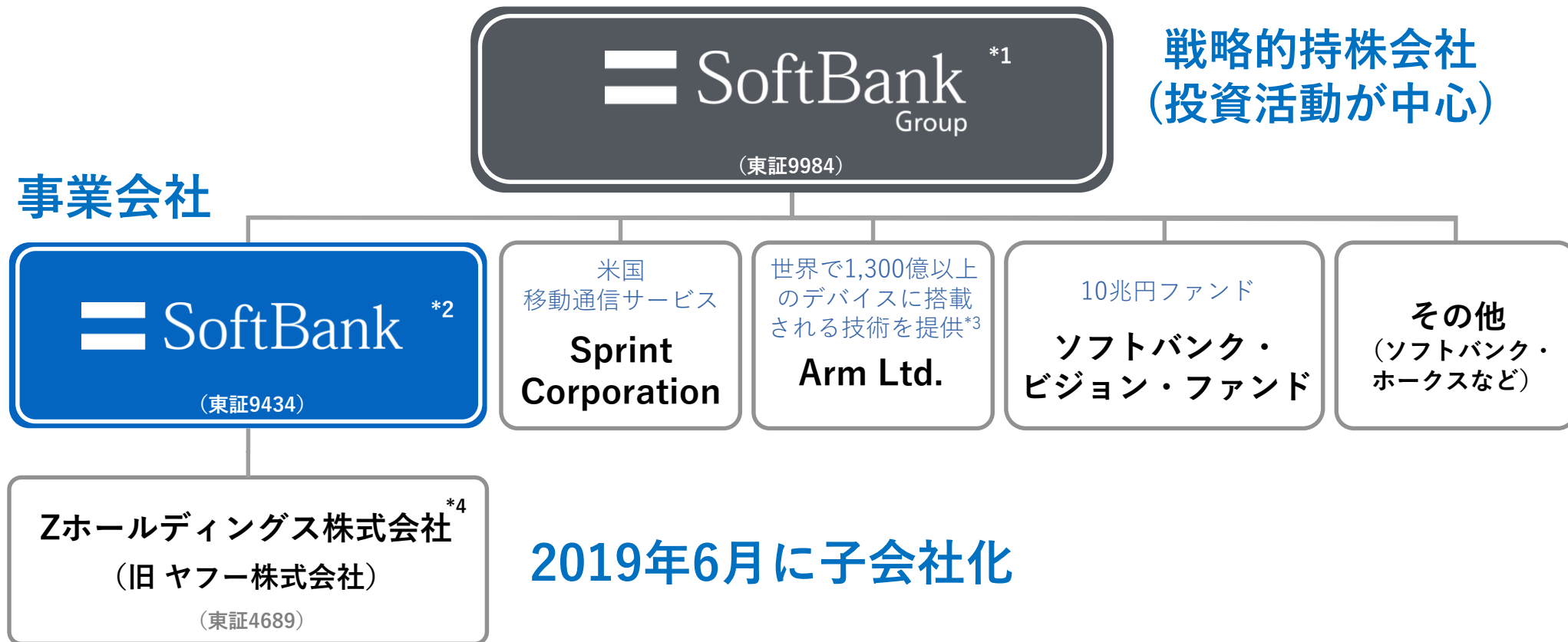
契約数

モバイル 4,477万件
ブロードバンド 770万件
(2019年6月末)

* 2018年度実績（未監査）。2019年6月27日付でヤフー(株)を子会社化しており、当該取引は共通支配下の取引として、2018年4月1日より、ヤフーグループの財務諸表をソフトバンク(株)グループの要約四半期連結財務諸表の一部として遡及して連結しています。

グループにおける位置付け

日本における中心的な事業会社として自律的・機動的経営を遂行



*1 上記は簡易的なグループストラクチャーを示しており、各々の持分比率を省略しています。

*2 ソフトバンク株式はソフトバンクグループ株式会社の完全子会社であるソフトバンクグループジャパン株式会社により直接保有されています。

*3 当社調べ。

*4 2019年10月1日より商号変更。持株会社体制に移行。

主戦場は常に変化



PC



インターネット



携帯電話



スマートフォン

時代をとらえて進化

PC流通事業
開始



高速
ブロードバンド



固定通信
参入



移动通信
参入



マルチブランド
戦略

SoftBank

Y! mobile

LINE MOBILE

PC



インターネット



携帯電話



スマートフォン



ソフトバンクの成長戦略

キャリアの先へ
Beyond Carrier

新領域



AI・テクノロジー
最先端ビジネスモデル

ヤフー



通信事業



スマホ契約数拡大



ブロードバンド契約数拡大



新たなインフラ

事業内容の紹介

4つの事業を展開



コンシューマ
(個人のお客様)



法人



流通



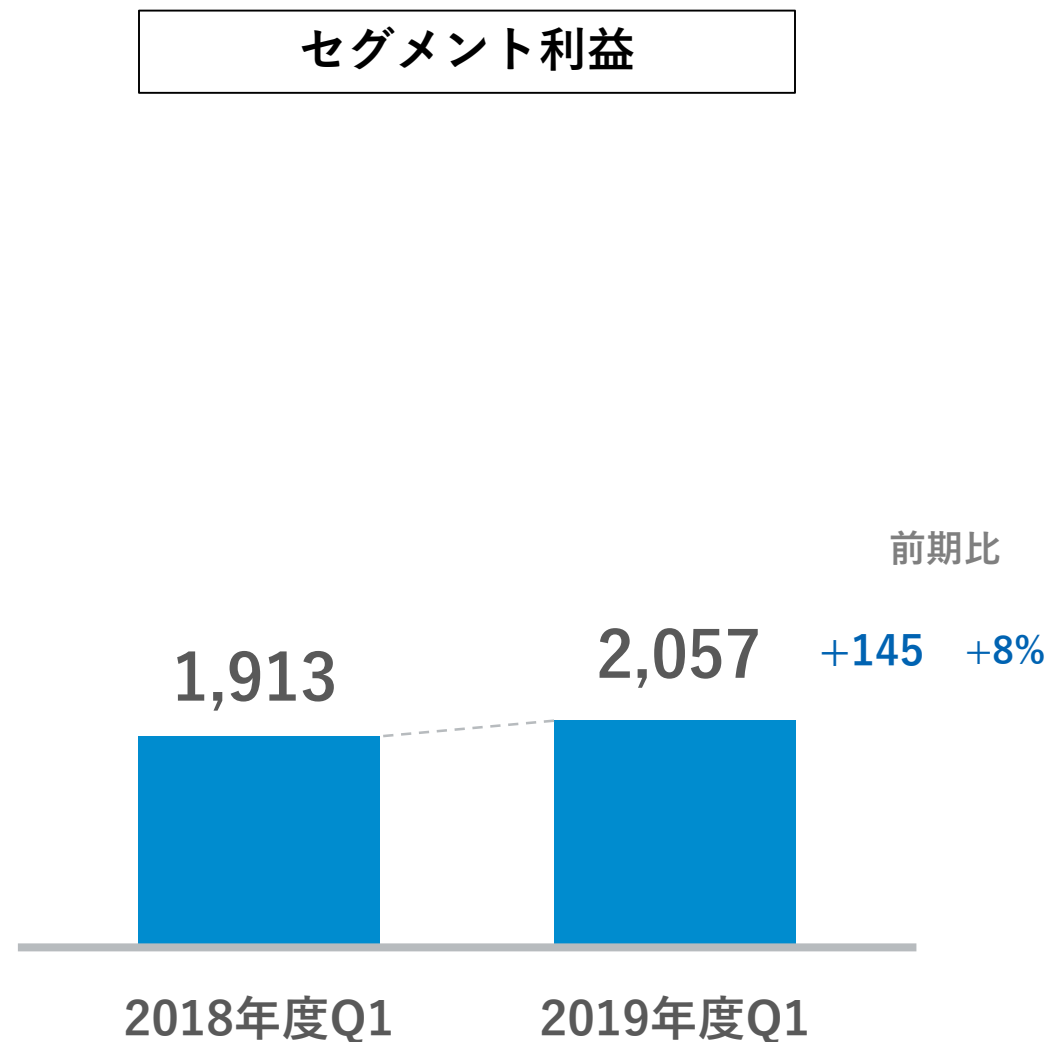
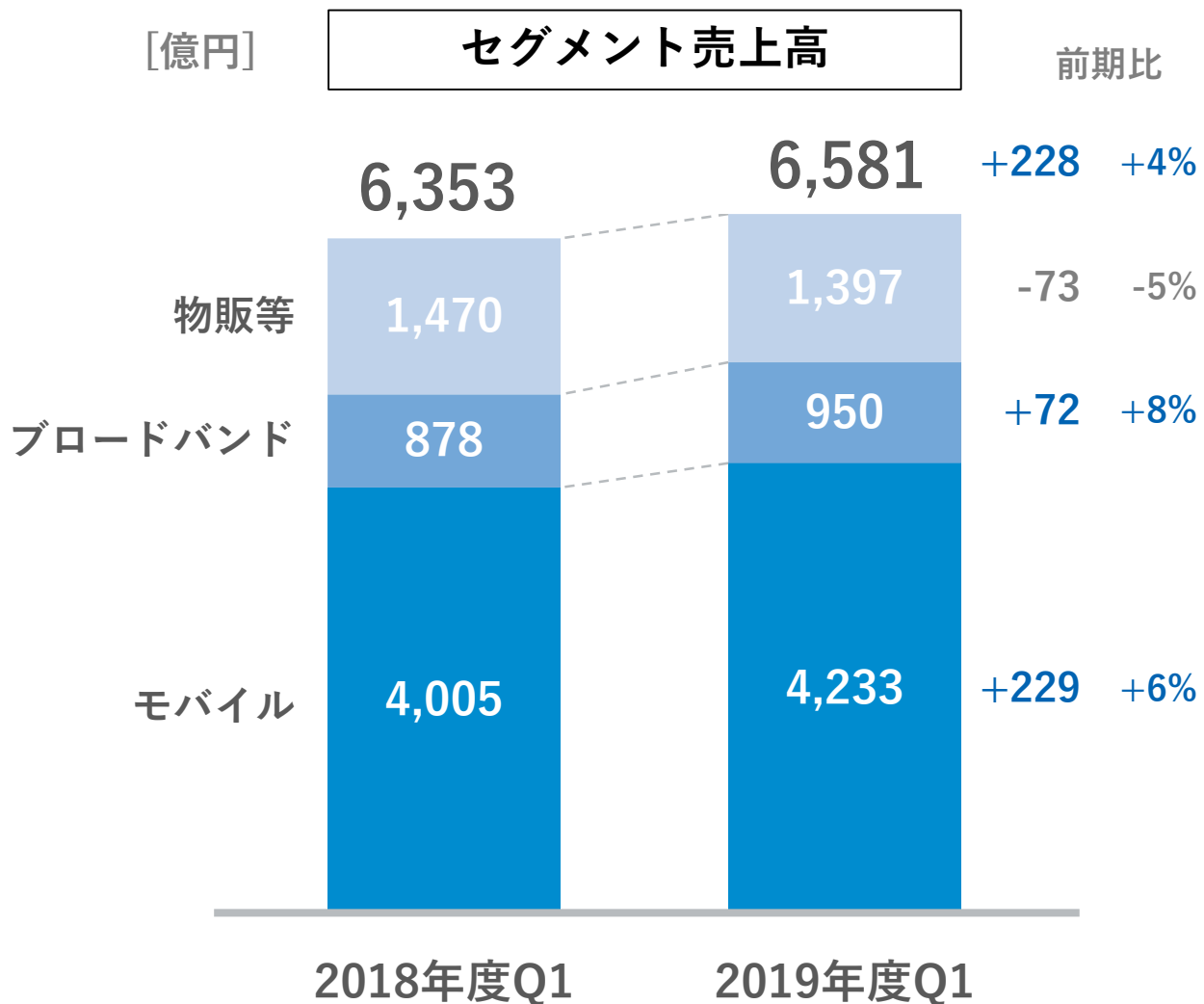
ヤフー

* 2019年度Q1売上高 (ヤフー遡及後)

コンシューマ事業

コンシューマ事業

売上高は前年同期比4%増、セグメント利益は同8%増。モバイル・ブロードバンドが大きく貢献。




ターゲットに合わせたマルチブランド戦略

SoftBank

Y!mobile

LINE MOBILE

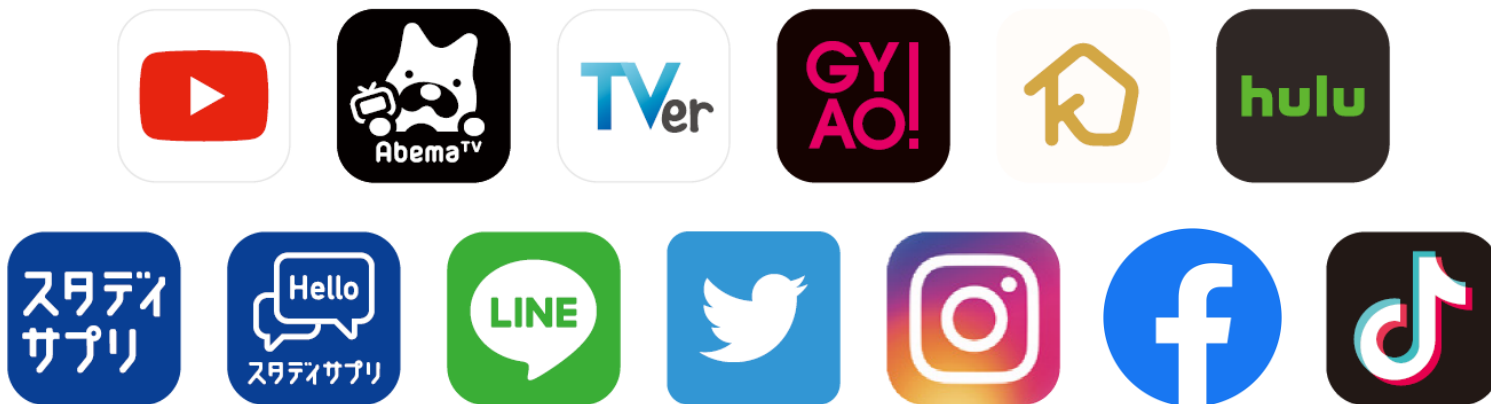
価格	 リーズナブル	 低価格	 超低価格
データ量	 大容量	 中容量	 小容量
ターゲット層	<ul style="list-style-type: none">大容量ユーザー (画像や動画も楽しめる方)ビジネスユーザー	<ul style="list-style-type: none">ライトユーザー (通話やメールを中心に ご利用される方)	<ul style="list-style-type: none">10代~20代前半の ユーザー
お客さまとの 接点	店舗中心	店舗中心	オンライン中心

ウルトラギガモンスター⁺

端末分離対応済み

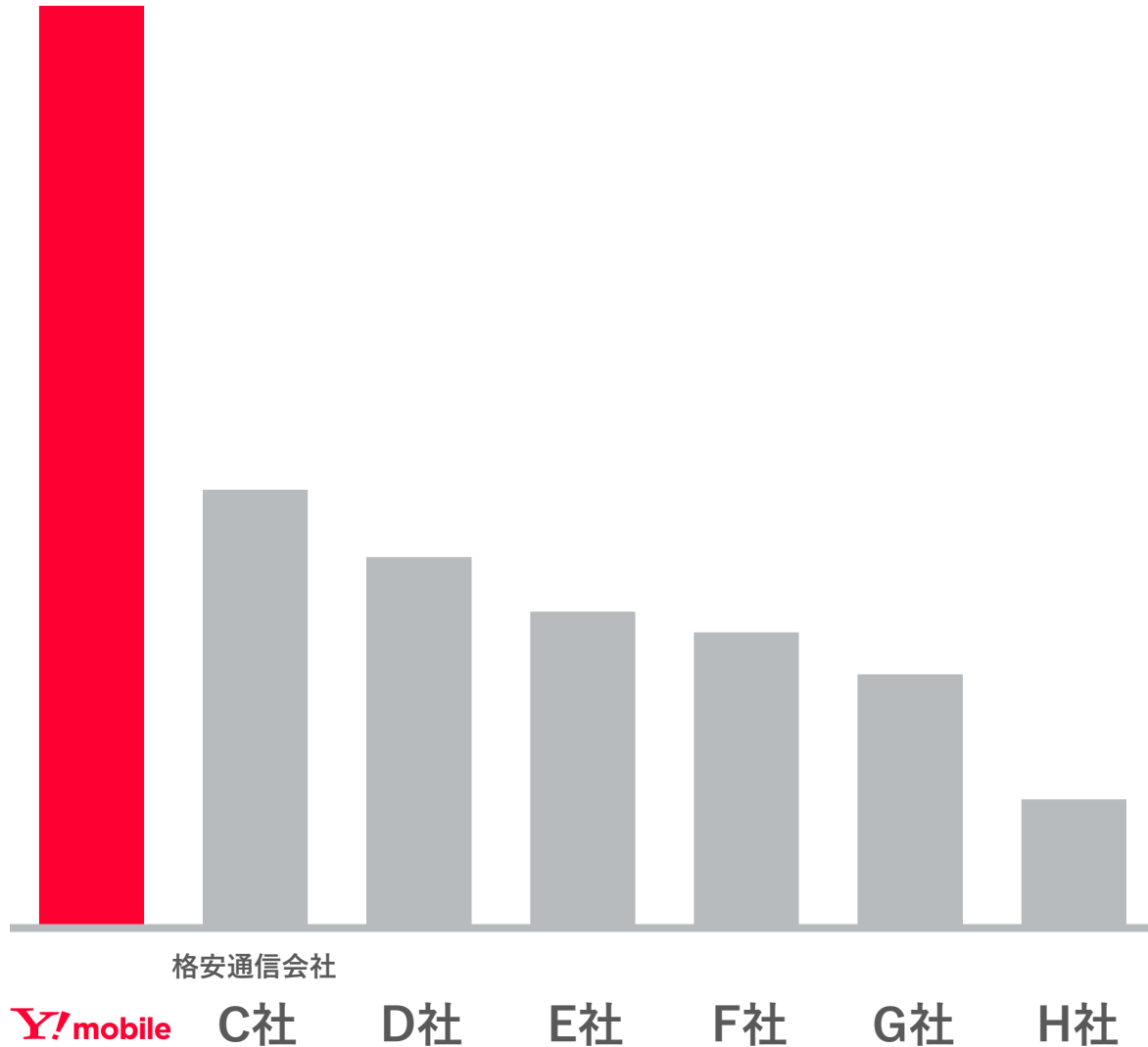
大容量
+
50ギガ

動画・SNS使い放題^{*}



^{*} 対象サービス内の一部機能については、データ通信量を消費します。
各サービスの利用料金は別途各社へお支払いください。

格安スマートフォン各社 累計契約数



格安スマートフォン
市場^{*}で

No.1

(出所) 18年9月末時点。MM総研 12月リリース「国内MVNO市場規模の推移 (2018年9月末)」を元に当社作成

* 他社数値は、NTTドコモ、au、ソフトバンクブランド及びMVNEを除く

ワイモバイルの料金プラン



スマホプランS
月々3GB

1,480円* /月～ (6ヶ月間)

スマホプランM
月々9GB

2,480円* /月～ (6ヶ月間)

スマホプランR
月々14GB

3,480円* /月～ (6ヶ月間)

*新規割 (6ヶ月間)、おうち割 光セット(A) もしくは家族割引サービス適用。

「新規割」：キャンペーン期間中に新規、他社からの乗り換え (MNP) ・番号移行、または契約変更でスマホベーシックプランS/M/Rにご契約いただくと、ご契約翌月から6ヵ月間基本使用料が最大700円割引となります。ご契約月は当キャンペーンの割引対象外です。ご契約後対象外プランへの変更や解約された場合、本キャンペーンの適用外となります。

「おうち割 光セット (A)」：別途固定通信サービス料が必要です。「SoftBank光」は指定オプション (500円/月～) 加入が必要です。最大10回線。

「家族割引サービス」：2回線目以降の基本使用料が毎月500円割引 (最大9回線まで)。「おうち割 光セット (A)」と「家族割引サービス」の併用はできません。

LINEモバイルの料金プラン

LINE MOBILE

LINEフリー

LINEアプリの通話・トークが使い放題

500円^{*}/月～

コミュニケーションフリー

人気のSNS使い放題

1,110円^{*}/月～

MUSIC+

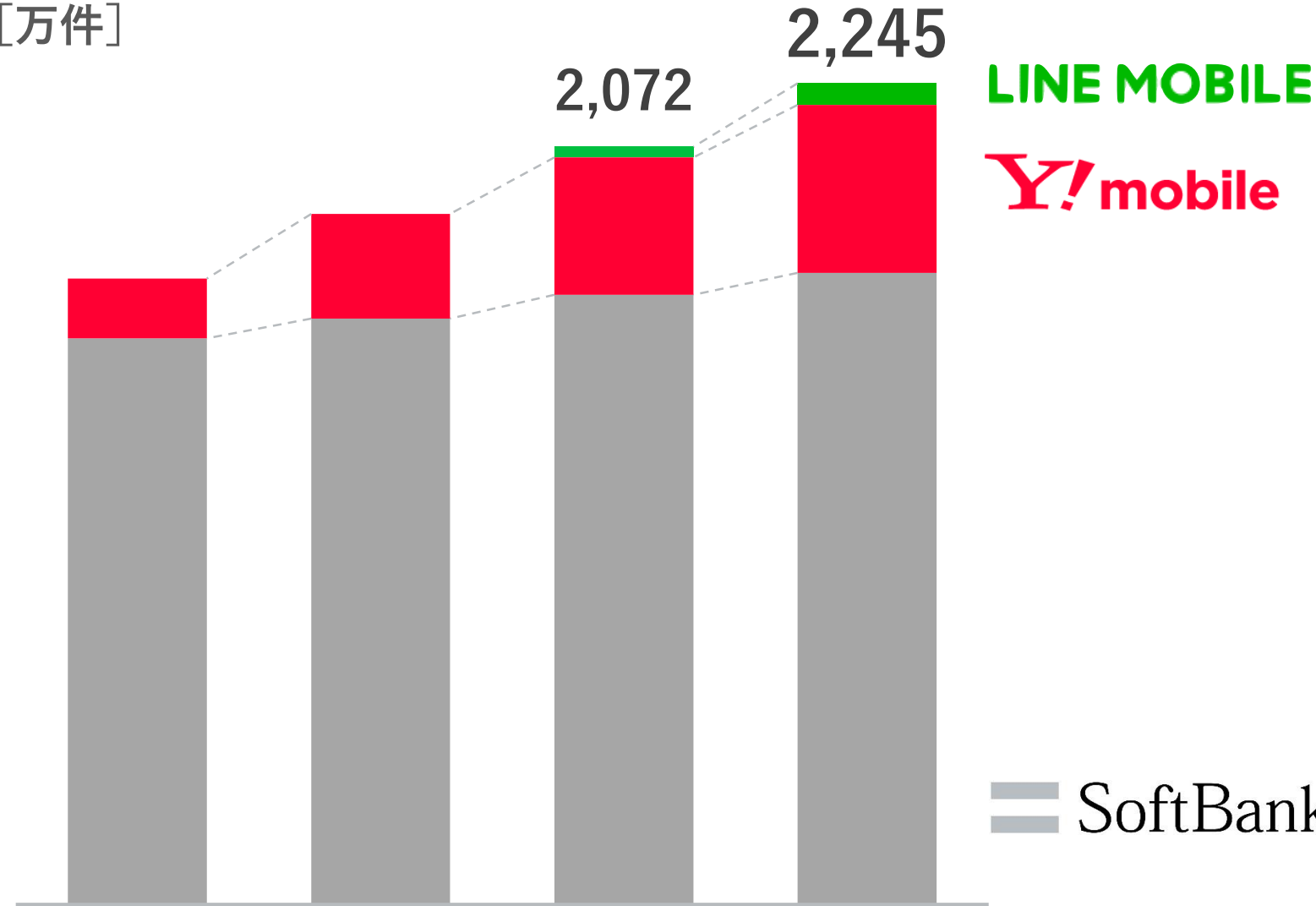
音楽聴き放題サービスをプラス

1,810円^{*}/月～

* それぞれ月間データ容量が1GB、3GB、3GBの場合

スマートフォン 累計契約数

[万件]



8%増
(174万件増)

2016年度Q1 17年度Q1 18年度Q1 19年度Q1

* 法人契約を含む

「スマホデビュープラン」

ガラケー



のりかえ(MNP)・
機種変更で

スマホ



SoftBank

通話 + データコミコミ

基本料 **980**円/月 (12カ月)^{※1}



5分以内の国内通話^{※2}



データ容量 1GB

+

「スマホデビュープラン」と
「半額サポート+」^{※3}に同時加入で
PayPayボーナス

最大 **10,000**円 

相当プレゼント!^{※4}

※1 翌月から。通話基本プラン（2年契約、中途解除料9,500円）・準定額オプション・ウェブ使用料・データ定額スマホデビュー・1年おトク割・スマホデビュー専用割引適用時。機種代金は含まず。おうち割 光セットなど、一部割引サービスは併用不可。

※2 ナビダイヤル（0570から始まる番号）など対象外となる電話番号があります。

※3 2019年10月10日より「トクするサポート」に名称変更。

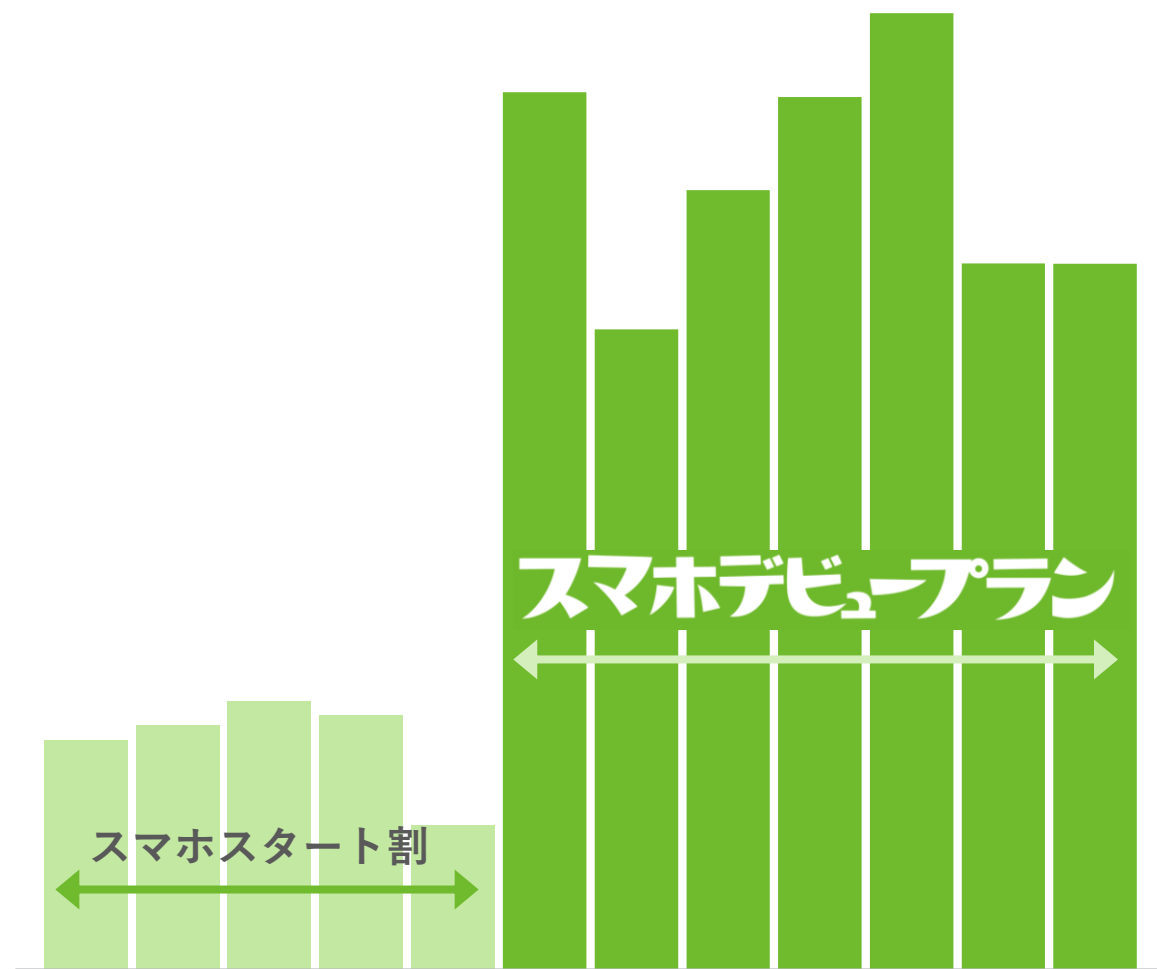
※4 キャンペーン期間：2019年10月1日から2019年12月31日。

「スマホデビュープラン」加入数

SoftBank

旧プラン対比

3倍以上の加入数



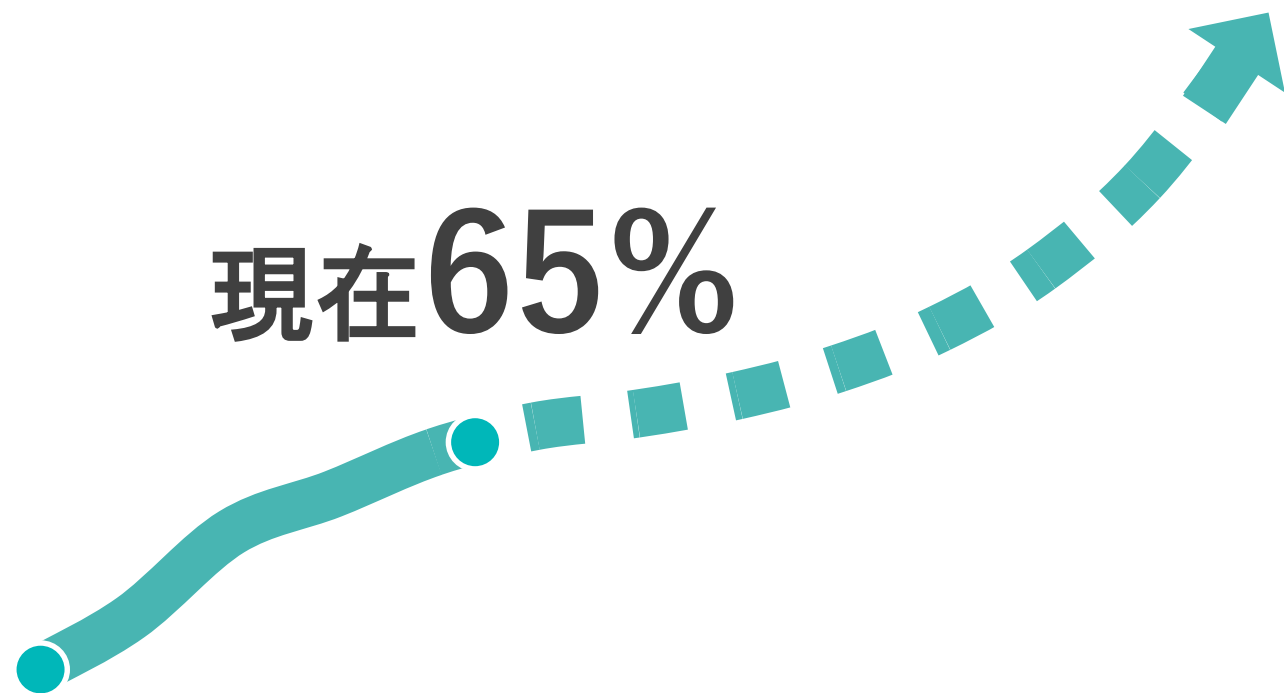
2019年
5月2週

2019年
7月4週



(定義) 2019年5月8日～6月11日：ケータイからスマートフォンへ機種変更
またはのりかえ(MNP)で「スマホスタート割」をご利用いただいた件数
2019年6月12日～7月30日：ケータイからスマートフォンへ機種変更
またはのりかえ(MNP)で「スマホデビュープラン」にご加入いただいた件数

日本市場の個人スマートフォン比率



スマートフォンは
今後も

さらに拡大

2013

2018

(定義) 総人口に対する個人のスマートフォンの保有比率。
2018年12月時点。総務省「通信利用動向調査」に基づく



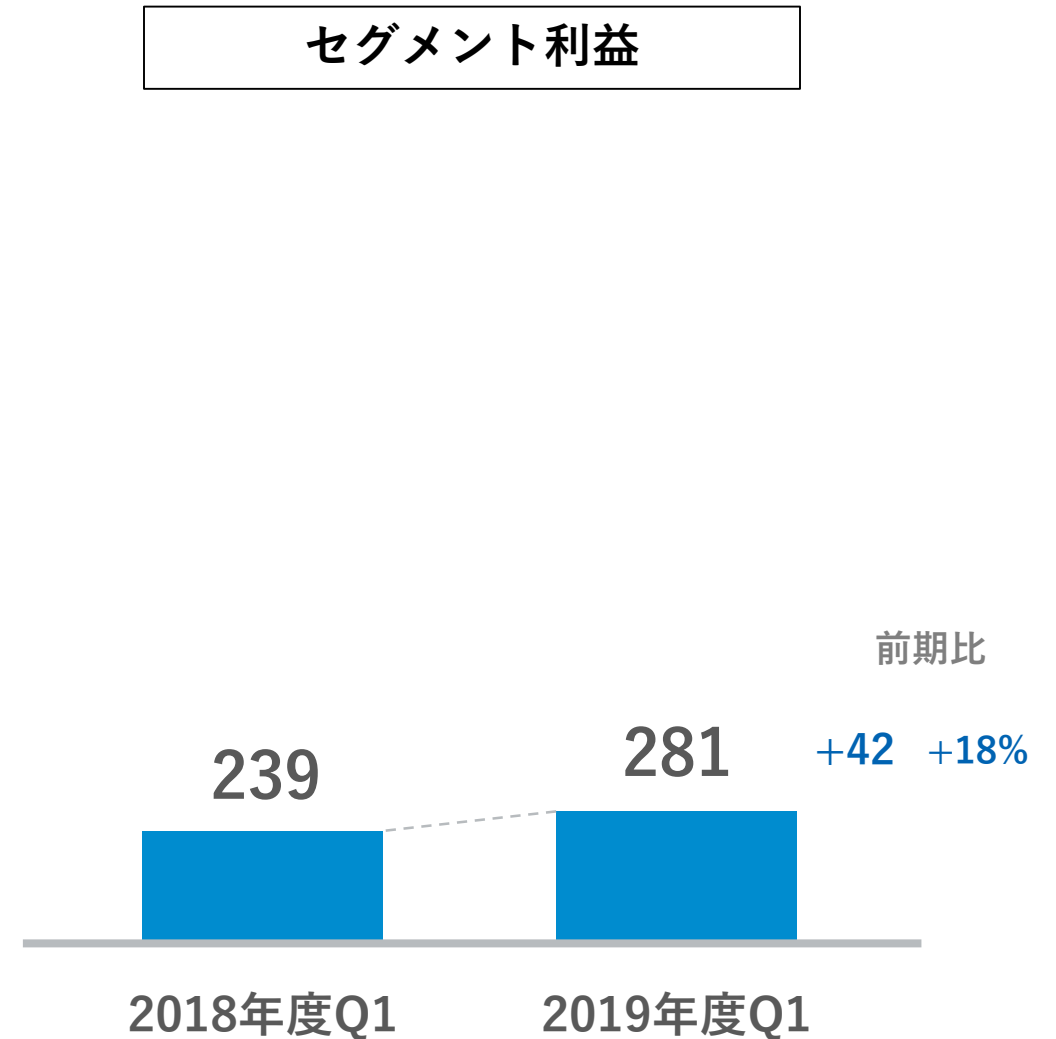
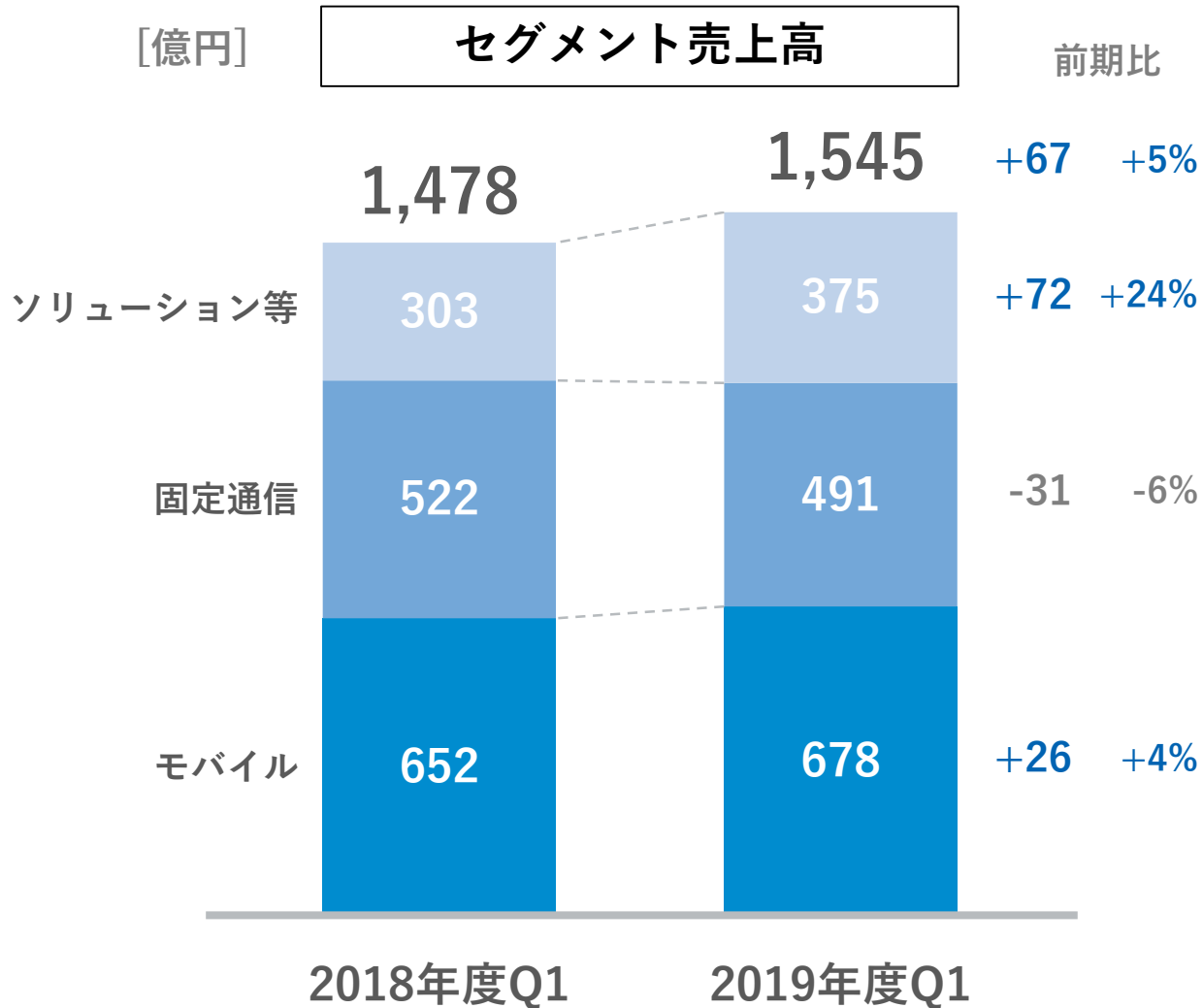
1億総スマホ時代へ



法人事業

法人事業

売上高は前年同期比5%増、セグメント利益は同18%増。ソリューション等が伸びをけん引。



法人事業の3つの領域

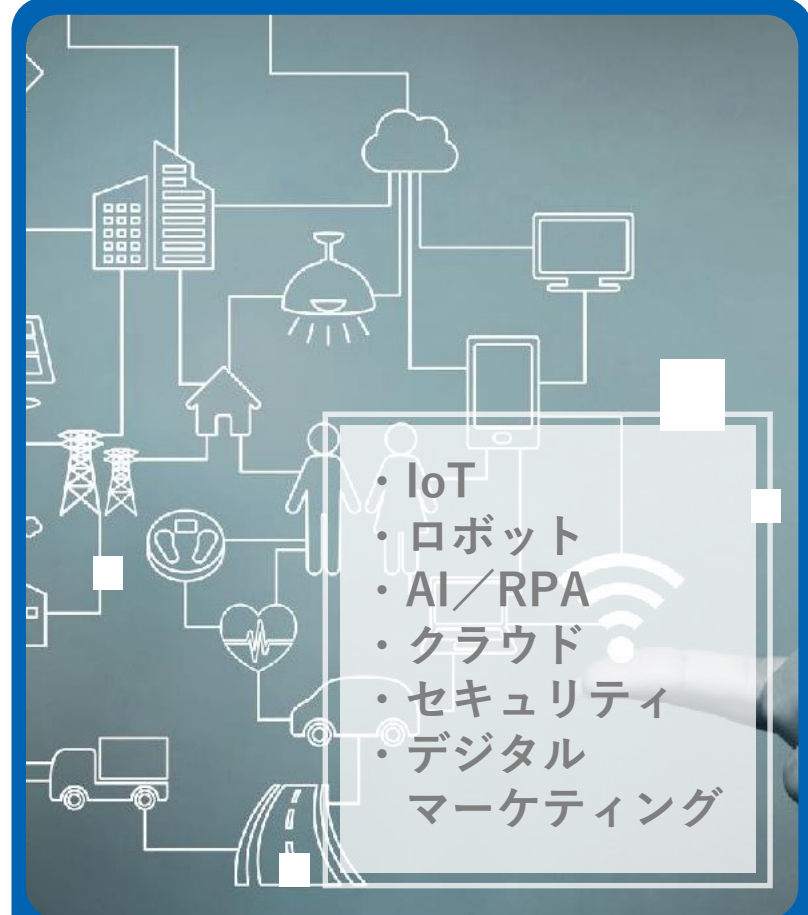


モバイル



- ・固定電話
- ・ネットワーク

固定通信



- ・IoT
- ・ロボット
- ・AI/RPA
- ・クラウド
- ・セキュリティ
- ・デジタルマーケティング

ソリューション等

世界のテクノロジー／ビジネスモデルを 日本展開

ソフトバンク
グループ
投資企業

SoftBank



- ・JV設立
- ・ビジネスモデル検討
- ・オペレーション建て付け
- ・販売支援

顧客（個人/法人）

スコア
リング

ホテル
運営
システム

自動
運転

配車
アプリ

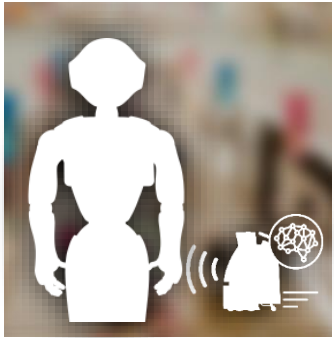
ロボット

QR決済



成長領域である 様々なソリューションを提供可能

ロボット



pepper
for Biz

AI 清掃PRO
brain powered

AI・RPA



IBM Watson

FINDABILITY
SCIENCES

SynchRoid

AUTOMATION
ANYWHERE
Go be great.

セキュリティ



cybereason

ZIMPERIUM
MOBILE THREAT DEFENSE

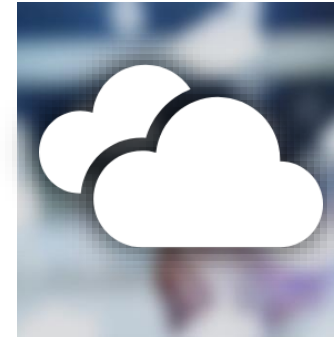
デジタル マーケティング



arm
TREASURE DATA

cinarra

クラウド



SB Cloud

ASPIRE

slack

IoT



SoftBank
IoT Platform

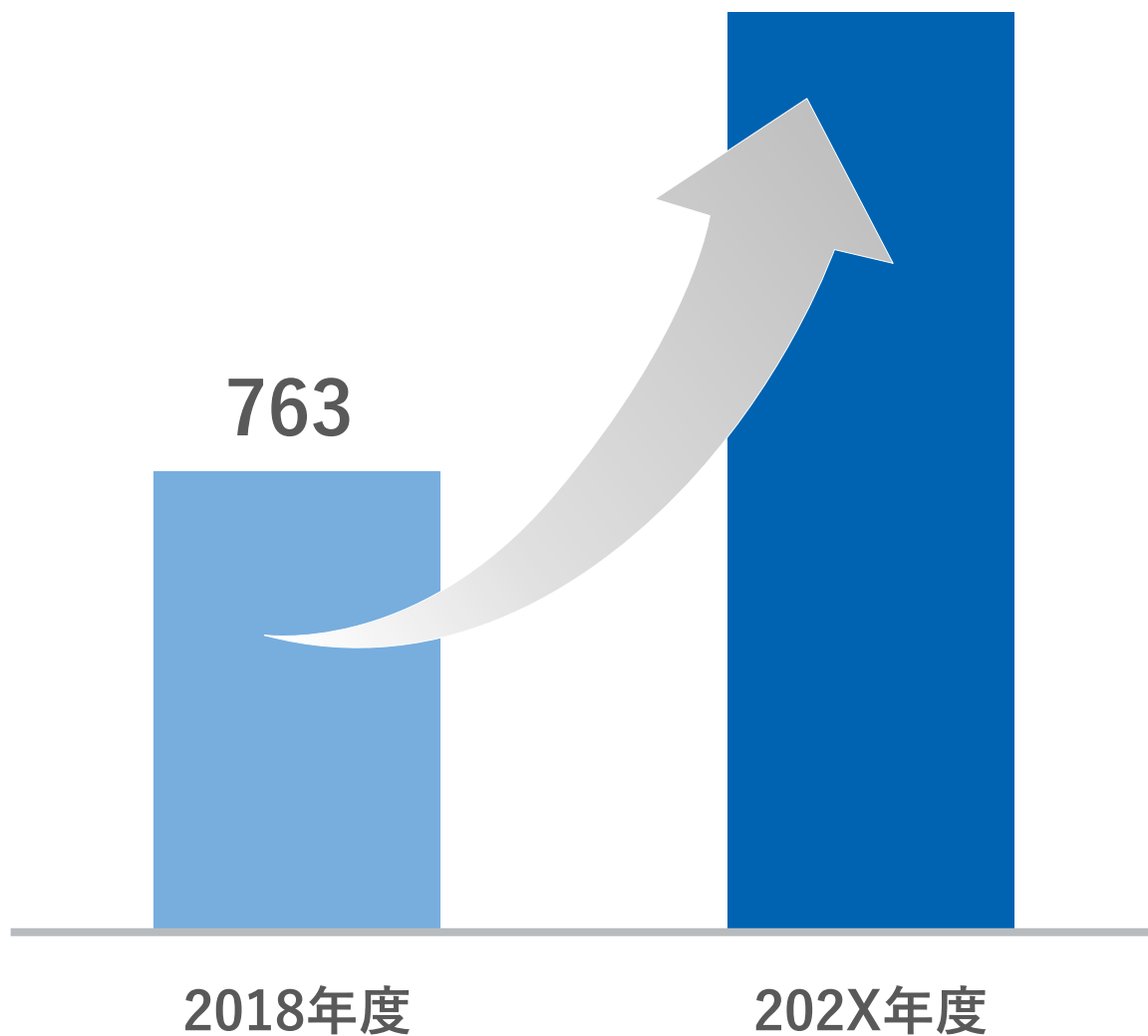
スマカギ

BLUU
SMART PARKING

準天頂衛星対応
トラッキングサービス

法人事業 営業利益

[億円]



法人事業
利益倍増
を目指す

== SoftBank *5G*

2019年度 5Gサービス開始

早期に人口カバレッジ90%以上を目指す

大容量

多接続

高速化

低遅延

5Gが実現する世界



仮想現実・拡張現実



ドローン活用



自動運転



商品管理(IoT)

5Gにおける優位性

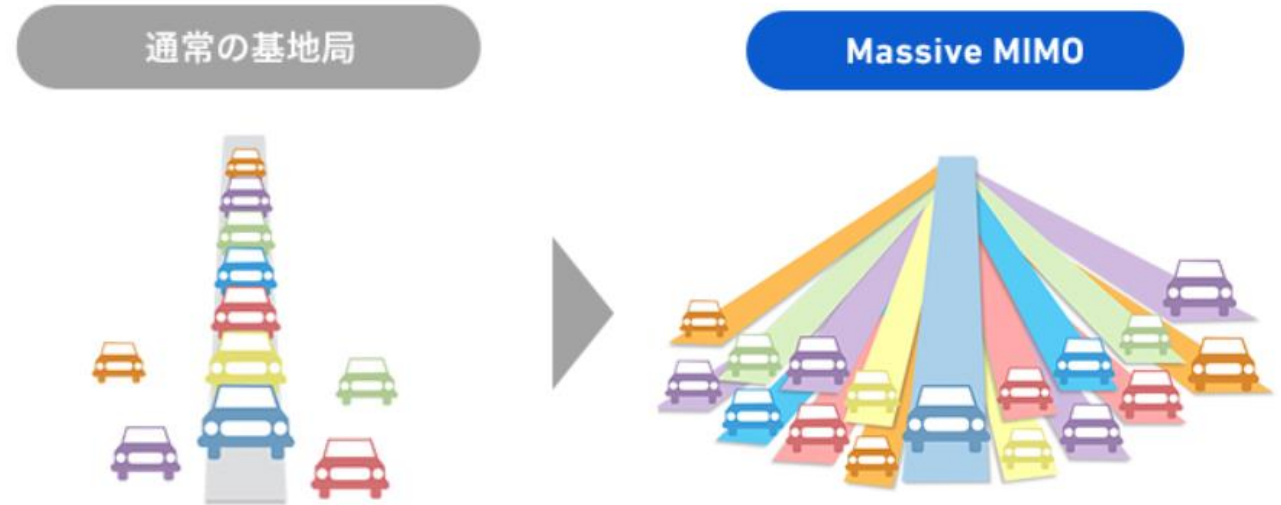
高密度な基地局網



5Gではより狭間隔の
基地局が必要なため優位

Massive MIMO^{*2}

ソフトバンクが
世界初^{*3}
商用展開



早期のノウハウ蓄積により効率的な基地局建設が可能に

*1 2018年8月時点の数値です。

*2 従来とは大きく異なり、1基地局あたり最大128本のアンテナにより高度なビームフォーミングや空間多重などの技術を実現し、ひとりひとりに専用の電波を割り当てることで駅や繁華街などの人が多く集まる場所でも快適なモバイル通信を実現する技術となります。

*3 当社調べ。

ヤフー事業

YAHOO!
JAPAN

連結子会社化



ヤフー事業の2つの領域



- ・ 「ヤフオク!」 「Yahoo!ショッピング」
- ・ 決済関連サービス

コマース



- ・ 「Yahoo! JAPAN」 「Yahoo!ニュース」
- ・ 広告関連サービス

メディア

2019年秋
リリース

プレミアムなショッピングモール

 PayPay モール

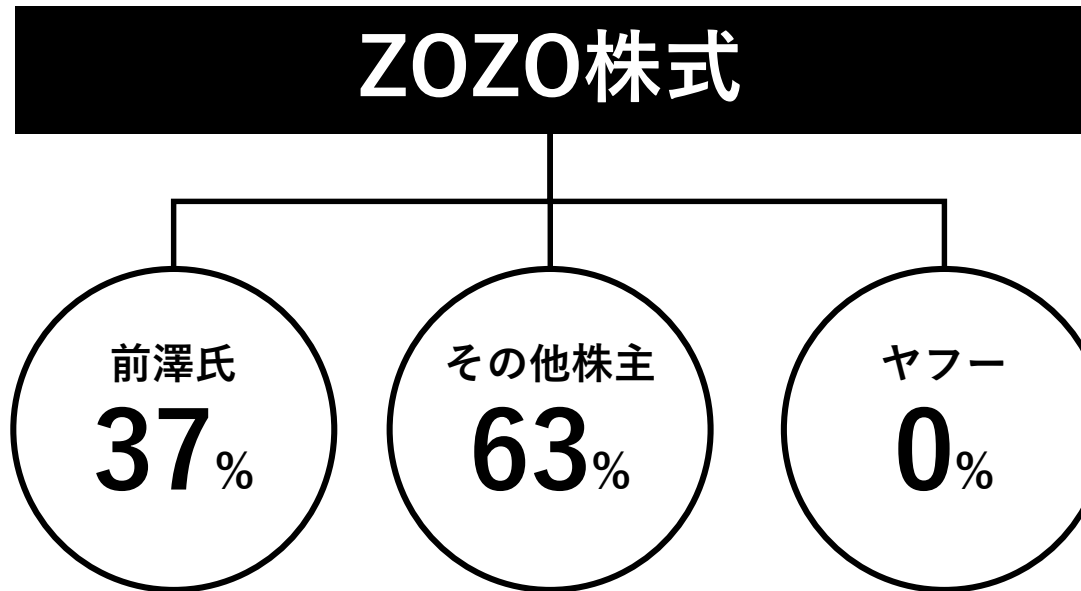


< 特徴 >

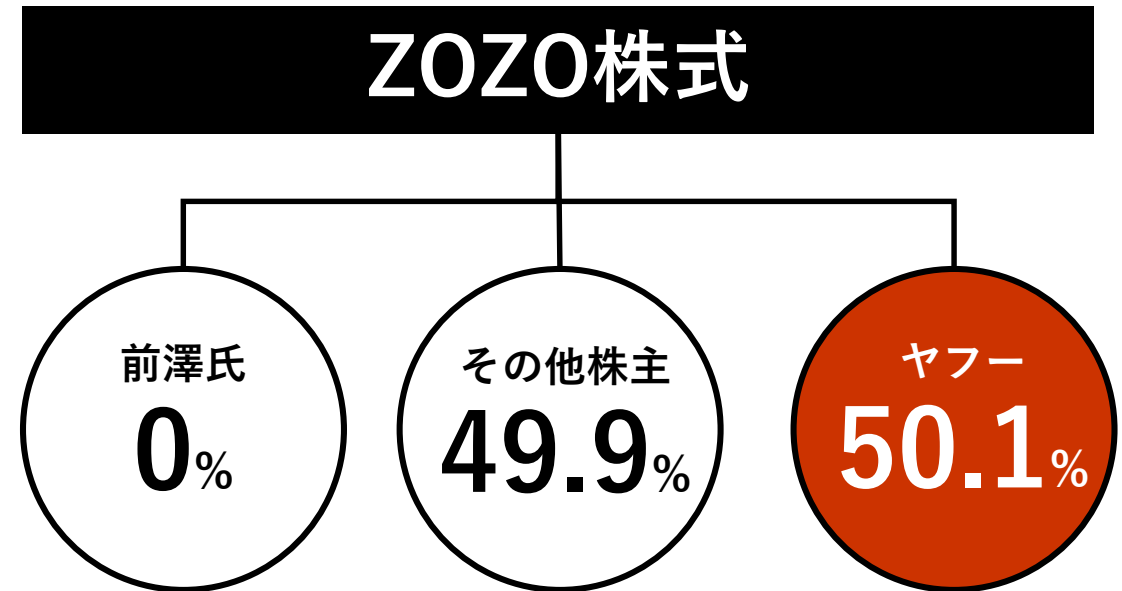
1. 当社が定める出店基準を満たしたストアのみ
2. 商品カテゴリごとに最適化されたUI/UX
3. 返品・交換可能（商品到着から14日以内）
4. リアル在庫連携
5. 「Yahoo!ショッピング」とも連携

TOBでZOZO社の50.1%の株式を取得し 連結子会社化を目指す

<現在>



<ヤフーが目指す姿>



取得金額：約4,000億円

- * TOBによる買付け数が50.1%に満たない場合、50.1%の保有とならない場合があります。
- * TOBへの応募が50.1%を超え買付けが按分になる場合や、前澤氏の応募状況などにより、取引完了時点で記載されている持分にならない場合があります。
- * TOBは公正取引委員会より排除措置命令を行わない旨の通知を受領した後、開始する予定です。

ZOZOTOWNがPayPayモールに出店



出店



*出店するブランド・ショップは個別に協議の上、決定いたします

ソフトバンク × ヤフーで描く世界

他社には真似できない未来を創る

金融

観光

不動産

医療

交通

宿泊

ビッグデータ

YAHOO!
JAPAN

< 広告/eコマース >

通信

SoftBank **5G**

< スマホ/ネットワーク >

AI企業群

ソフトバンクグループ
の投資先

< 最先端テクノロジー >

新領域の拡大

ソフトバンクの成長戦略

キャリアの先へ
Beyond Carrier

新領域



AI・テクノロジー
最先端ビジネスモデル

ヤフー



通信事業



スマホ契約数拡大



ブロードバンド契約数拡大



新たなインフラ



スマホ決済サービス 「PayPay」

「PayPay」1年間の実績

ユーザー数

1,250万人



加盟店申込数

140万カ所



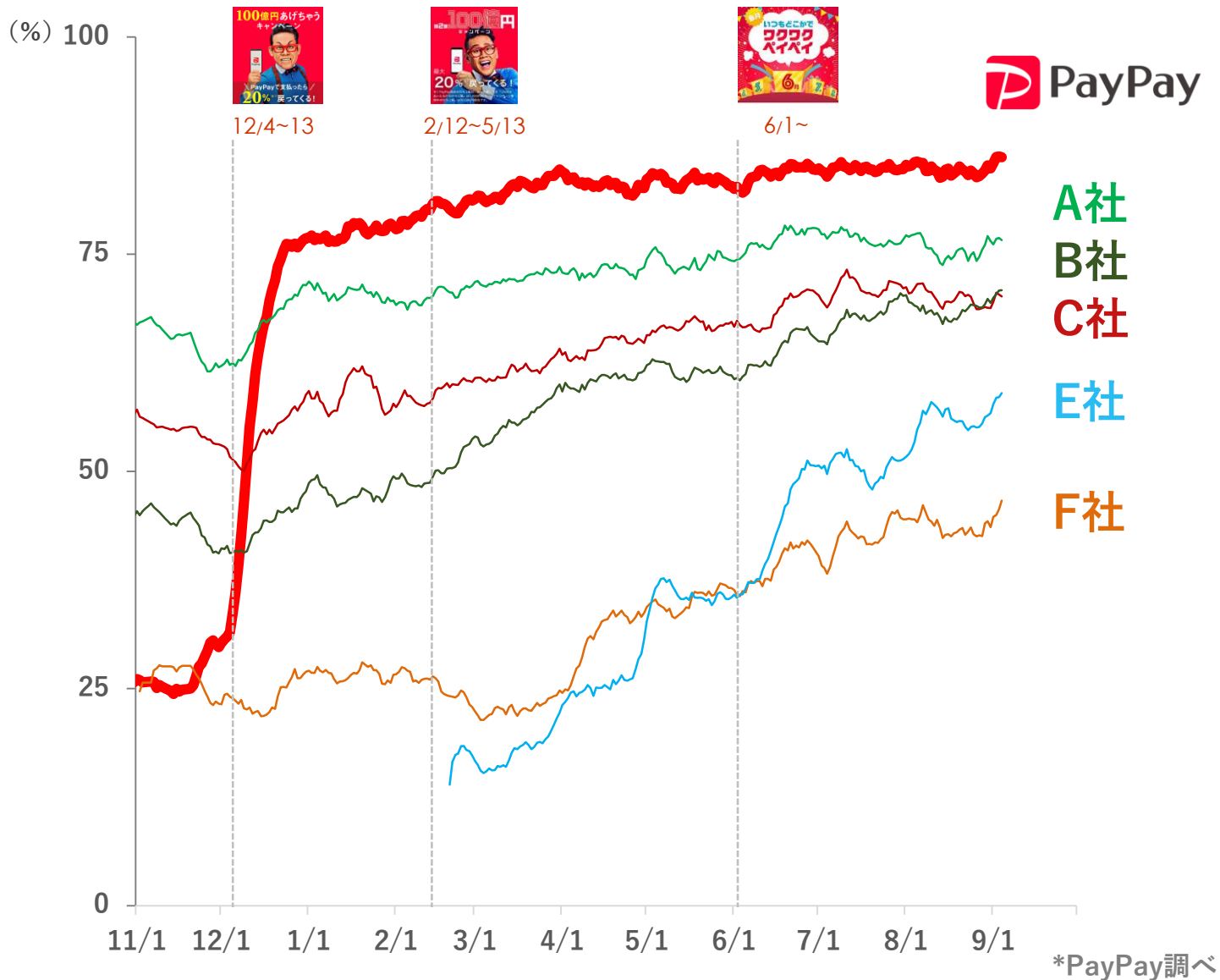
決済回数

累計1.4億回超



*1周年記者発表会(2019年9月13日)時点

名称認知



スマホ決済 名称認知

No.1



継続的にキャンペーンを実施

2018年12月

2019年2月～5月

※大反響をいただき、10日間で終了



100億円あげちゃう
キャンペーン

PayPayで支払ったら /
20%*戻ってくる!



第2弾
100億円
キャンペーン

2019年6月

7月

8月

9月

ドラッグストアで
最大20%戻ってくるキャンペーン



全国

6月1日(土)～6月30日(日)

飲食店・スーパーで!
PayPayランチ



全国

7.1(月)～7.31(水)の
11:00～14:00 限定

飲食店・スーパー・コンビニで!
PayPayランチ



全国

8.1(木)～8.31(土)の11:00～14:00

10時～14時がおトク!家計を応援!
スーパーマーケット大還元祭



全国

9.1(日)～9.30(月)の10:00～14:00



第1弾

当店ならPayPayで

もっとおトク!



消費者還元事業から

5%



CASHLESS

PayPayから最大

5%



PayPay

合計

最大10%戻ってくる!

消費者還元事業:【付与上限】2万5千円相当/回・2万5千円相当/月

PayPay:【付与上限】千円相当/回・2万5千円相当/月 *ヤフーカード以外のクレジットカードは対象外

開催期間:2019.10.1~2019.11.30

「PayPay」ソフトバンクユーザーメリット

 SoftBank 

「ソフトバンク」および「ワイモバイル」のスマホユーザーなら



「PayPay」残高チャージ分の
スマホ料金支払いで
さらに利便性向上

(注) 「ソフトバンク」および「ワイモバイル」ブランドのスマホユーザーは、「PayPay」への残高チャージ分を、月々のスマートフォンの利用料金とまとめて支払うことが可能。

今後 決済アプリから“スーパーアプリ”へ

オフライン



公共料金 + 税金



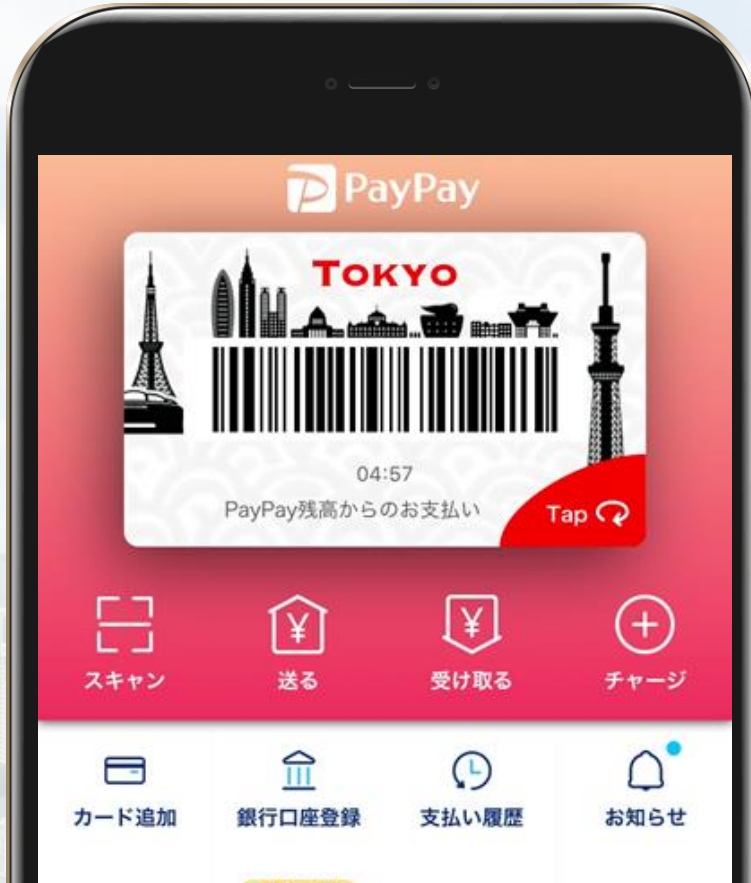
オンライン/O2O



金融サービス



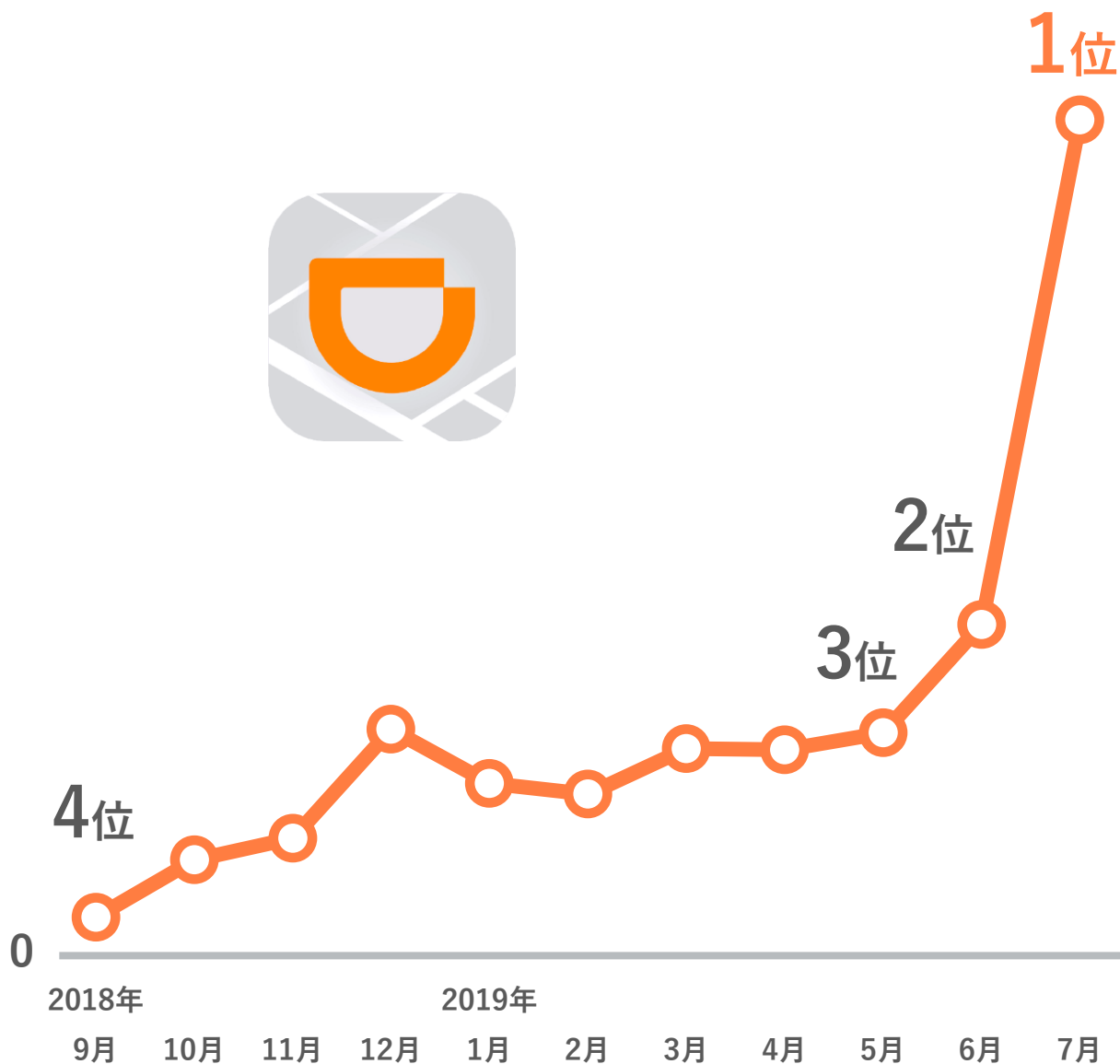
P2P/ソーシャル





AIタクシー配車プラットフォーム 「DiDi」

「DiDi」月間アプリダウンロード数



サービス開始10か月で
タクシー配車アプリ
ダウンロード数

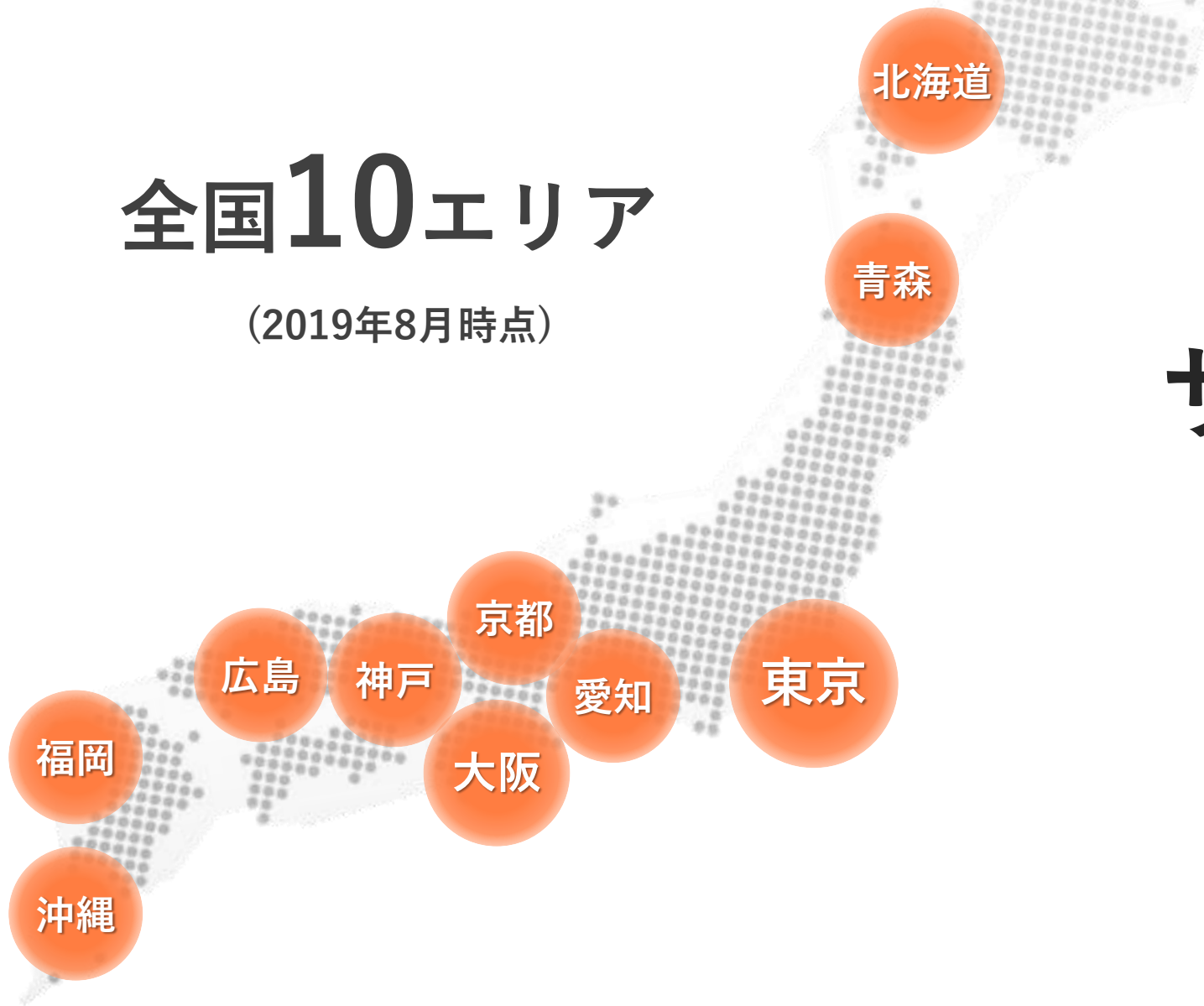
No.1

(出所) App Annie
(定義)月間アプリダウンロード数(日本国内iOS・GooglePlay合計)
集計期間：2018年9月1日～2019年7月31日

「DiDiモビリティジャパン」

全国10エリア

(2019年8月時点)

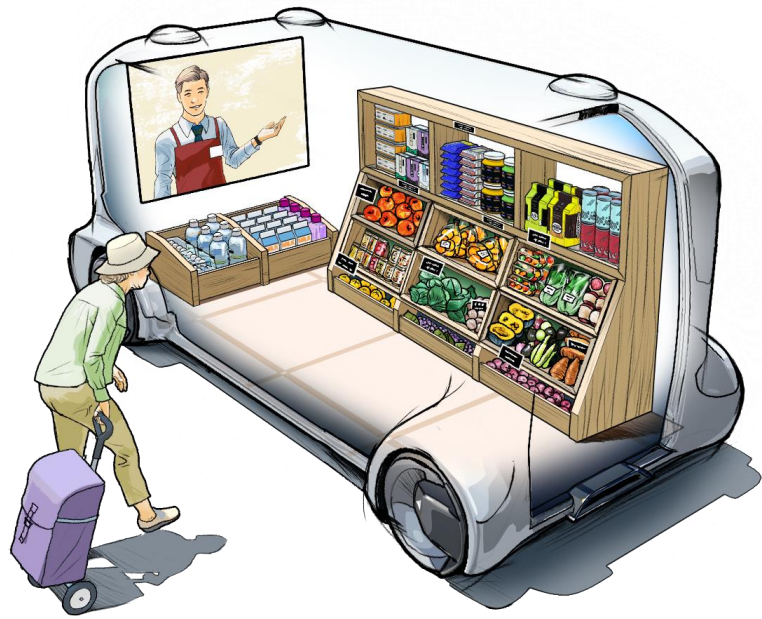


サービスエリア
急拡大

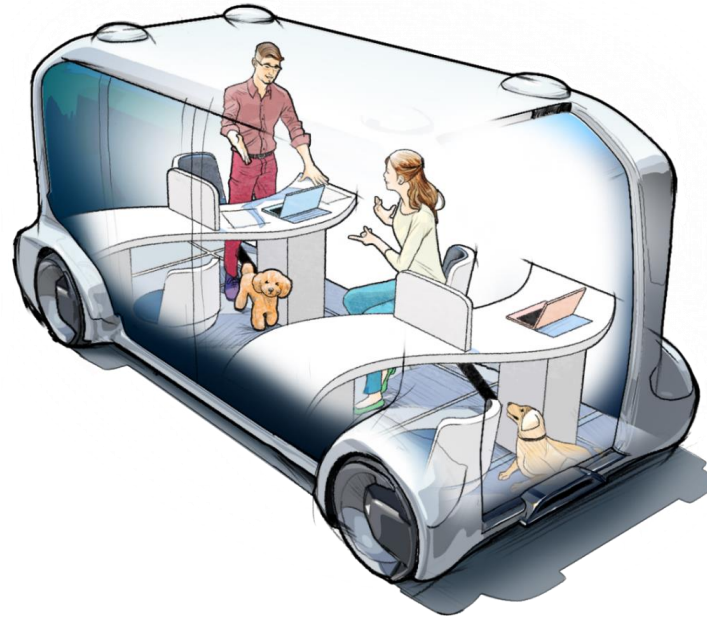


次世代のモビリティ イノベーションを推進する 「MONET」

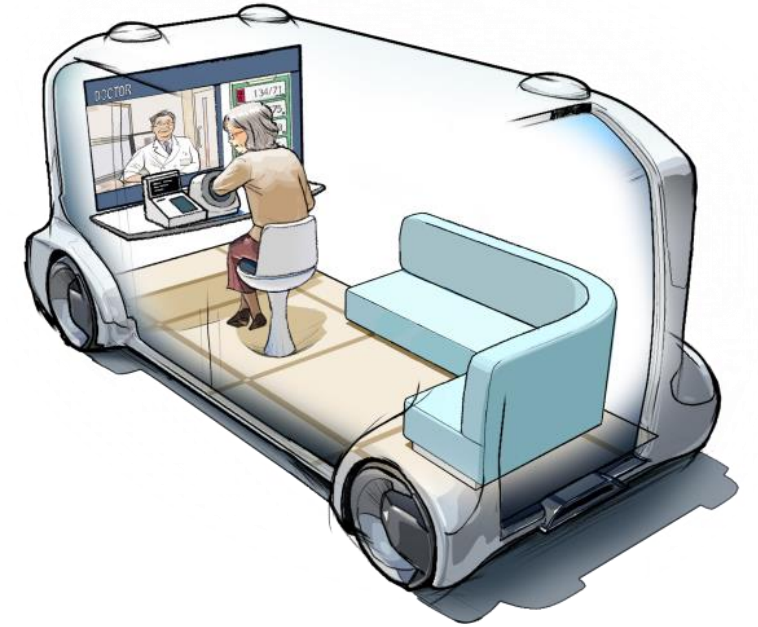
究極の移動サービスの実現に向けて



移動コンビニ



移動オフィス



病院シャトル

国内外の企業とさまざまな分野で連携を加速

ソフトバンク・ビジョン・ファンドの投資先との連携

その他の連携

we

JV

DiDi

JV

MONET
MONET TECHNOLOGIES INC.

JV

cybereason

JV

HAPS MOBILE

JV

OYO

JV

COHESITY

JV

J.Score

JV

FINDABILITY
SCIENCES

JV

SB Cloud

JV

Paytm

連携

arm
TREASURE DATA

連携

ENCORED

JV

One Tap BUY

投資

ZIMPERIUM
MOBILE THREAT DEFENSE

投資

mapbox

連携

brain@
corp

連携

AUTOMATION
ANYWHERE
Go be great.

連携

TBCA
Soft

投資

SoftBank
Robotics

連携

BostonDynamics

連携

業績

2019年度 連結業績予想

[億円]

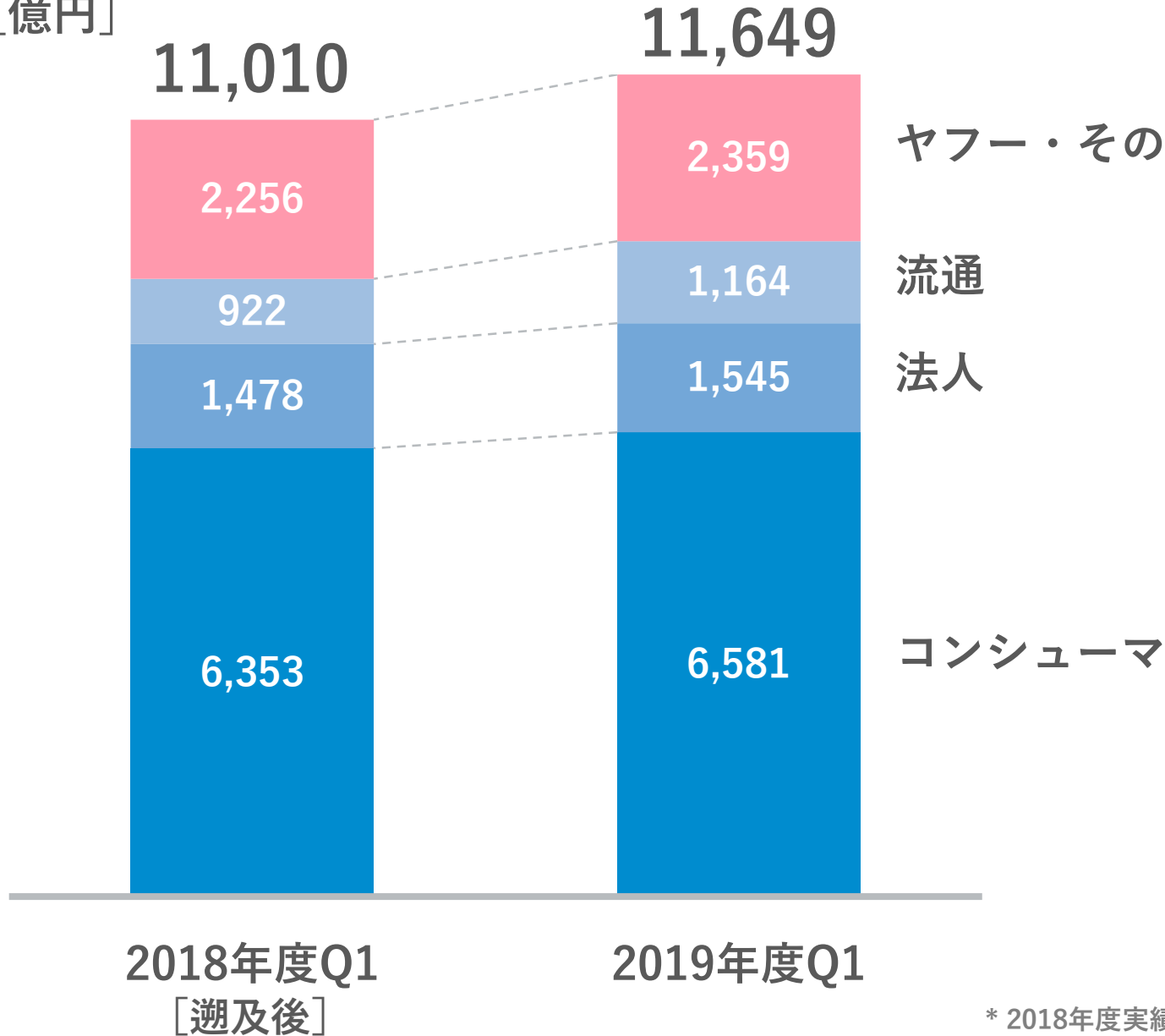
	2018年度 通期実績	2019年度 通期予想	増減	増減率
売上高	46,568	48,000	+1,432	+3.1%
営業利益	8,182	8,900	+718	+8.8%
純利益	4,625	4,800	+175	+3.8%

(定義) 純利益：親会社の所有者に帰属する純利益

* 2018年度実績（未監査）は、ヤフー(株)を連結子会社化した影響の遡及修正を実施

売上高

[億円]



全ての事業で
増収

* 2018年度実績は、ヤフー株式会社を連結子会社化した影響の遡及修正を実施

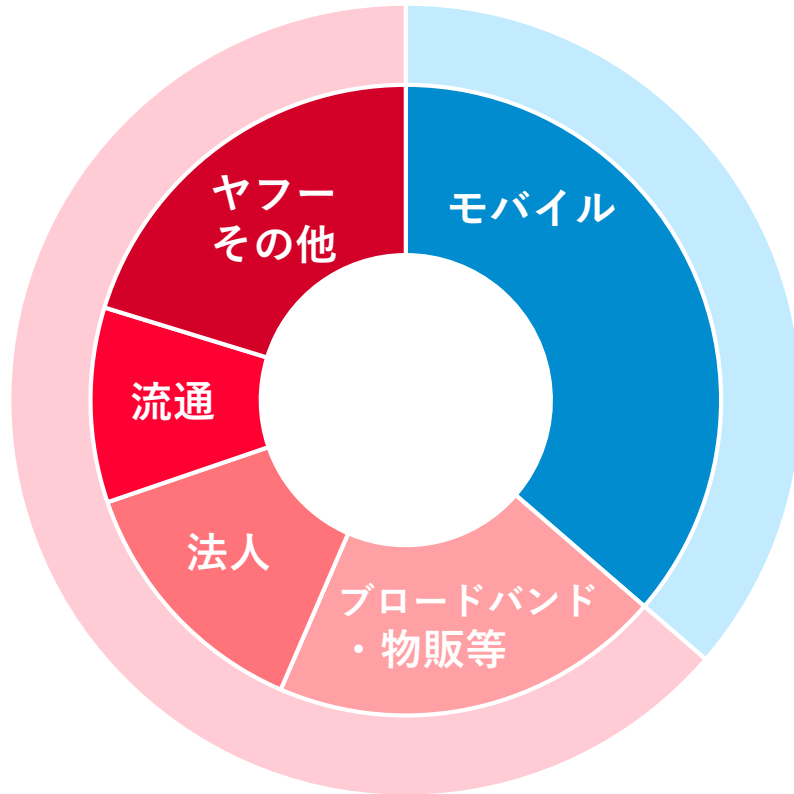
売上高比率

64%

個人向け
モバイル以外

36%

個人向け
モバイル

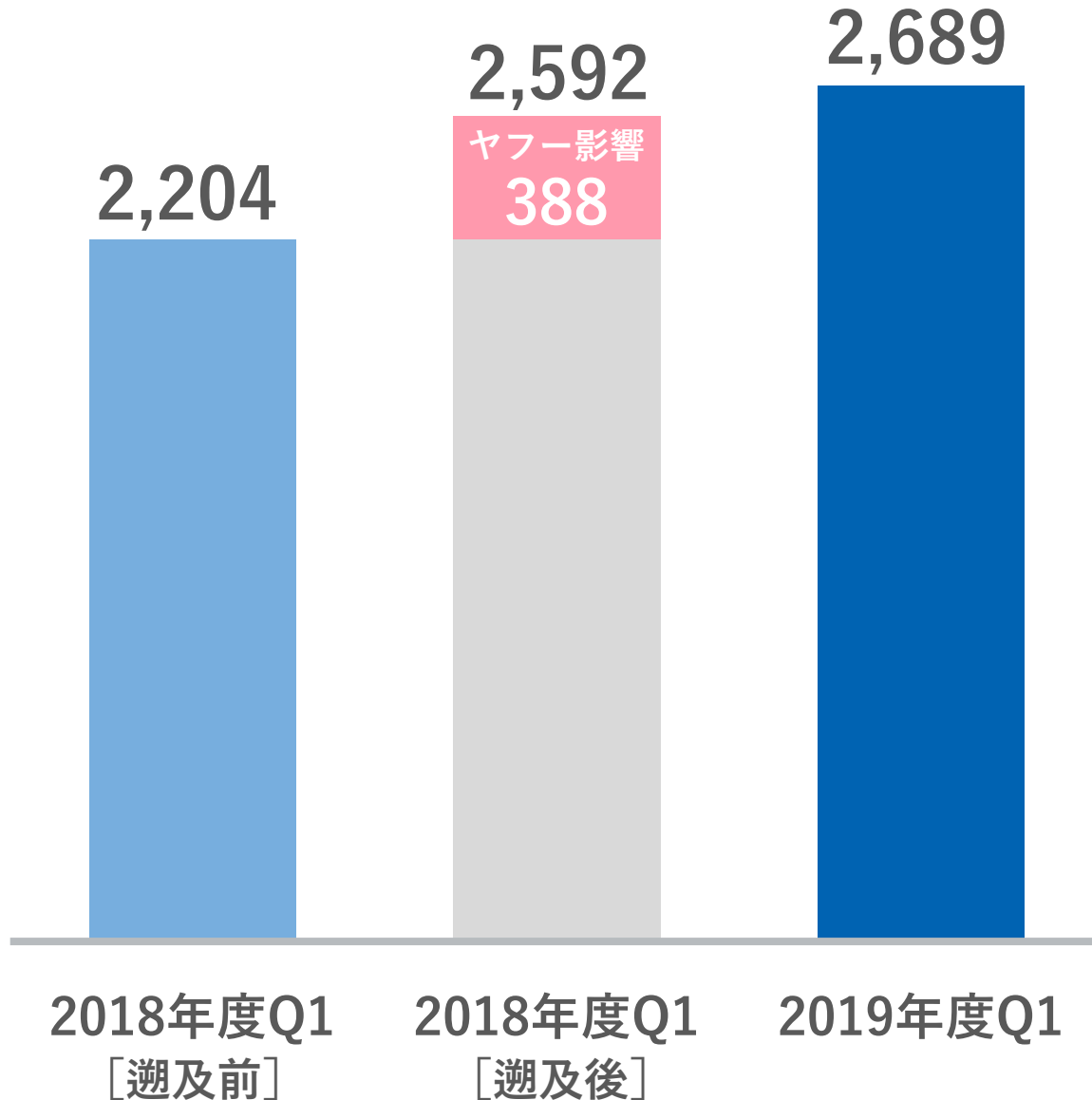


ヤフー連結子会社化で 収益源が多様化



営業利益

[億円]

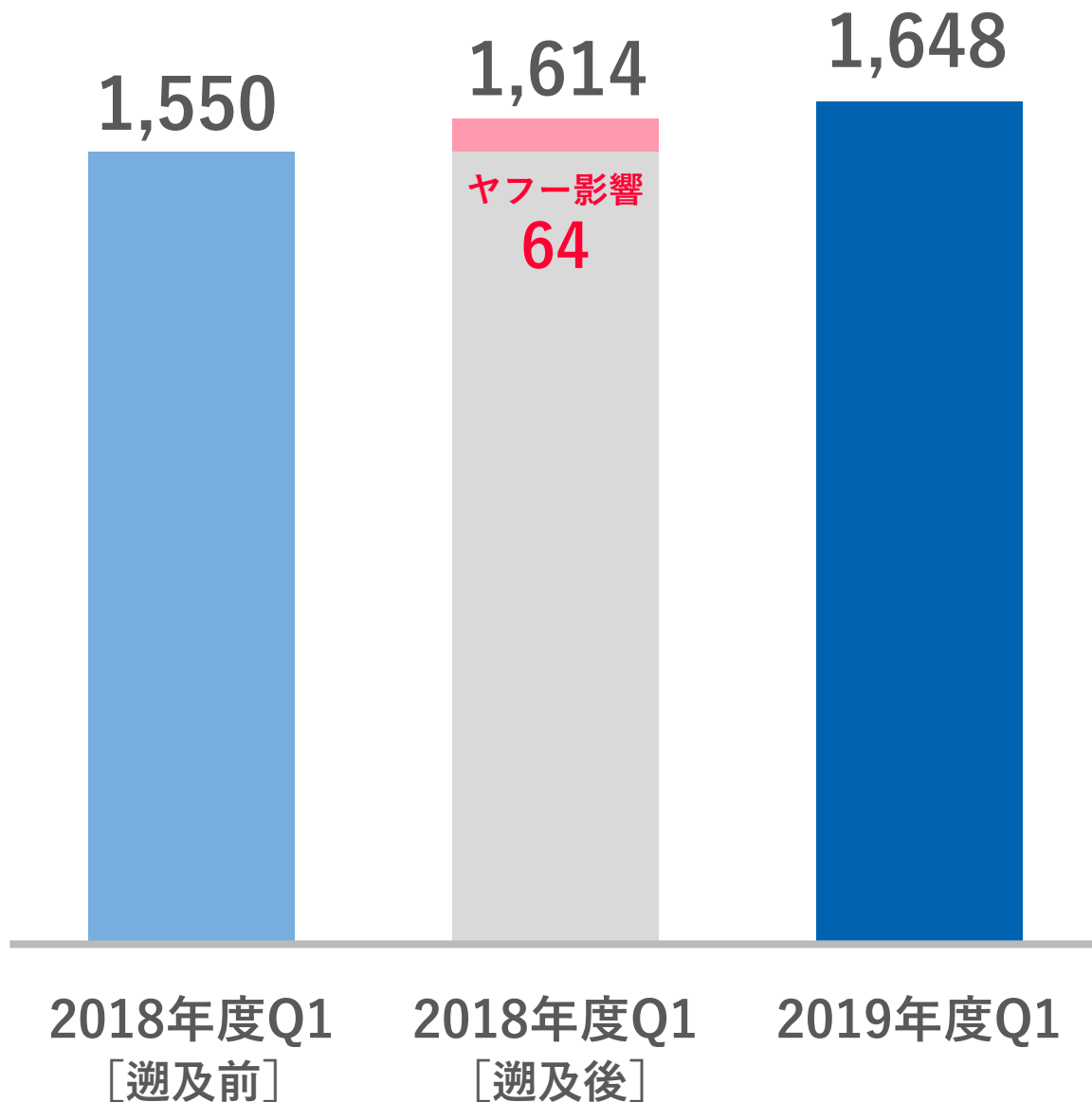


ヤフー連結子会社化で
22%増
(遡及後対比 4%増)

* 2018年度実績は、ヤフー株式会社を連結子会社化した影響の遡及修正を実施

純利益

[億円]



ヤフー連結子会社化で
6%増
(遡及後対比 2%増)

(定義) 純利益：親会社の所有者に帰属する純利益
* 2018年度実績は、ヤフー株式会社を連結子会社化した影響の遡及修正を実施

2019年度 予想対比 進捗率

[億円]

進捗率

営業利益
30%

純利益
34%

年間予想

8,900

4,800

Q1

2,689

1,648

営業利益

純利益

計画を上回って 進捗

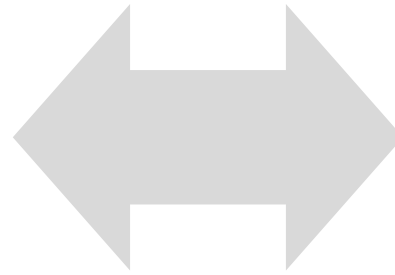
(定義) 純利益：親会社の所有者に帰属する純利益

* 年間予想は、2019年5月8日発表

営業利益 1兆円企業へ

株主様への還元

成長と株主還元を両立



1株あたり利益 (EPS)

90円 → 100円

FY18

FY19

1株あたり配当 (DPS)

75^{*1}円 → 85円

FY18

FY19

* FY18数値はヤフーを除く。FY19は予想値

*1: 年間換算

配当の考え方

連結配当性向85%程度を目安に**安定的な1株配当**を目指す

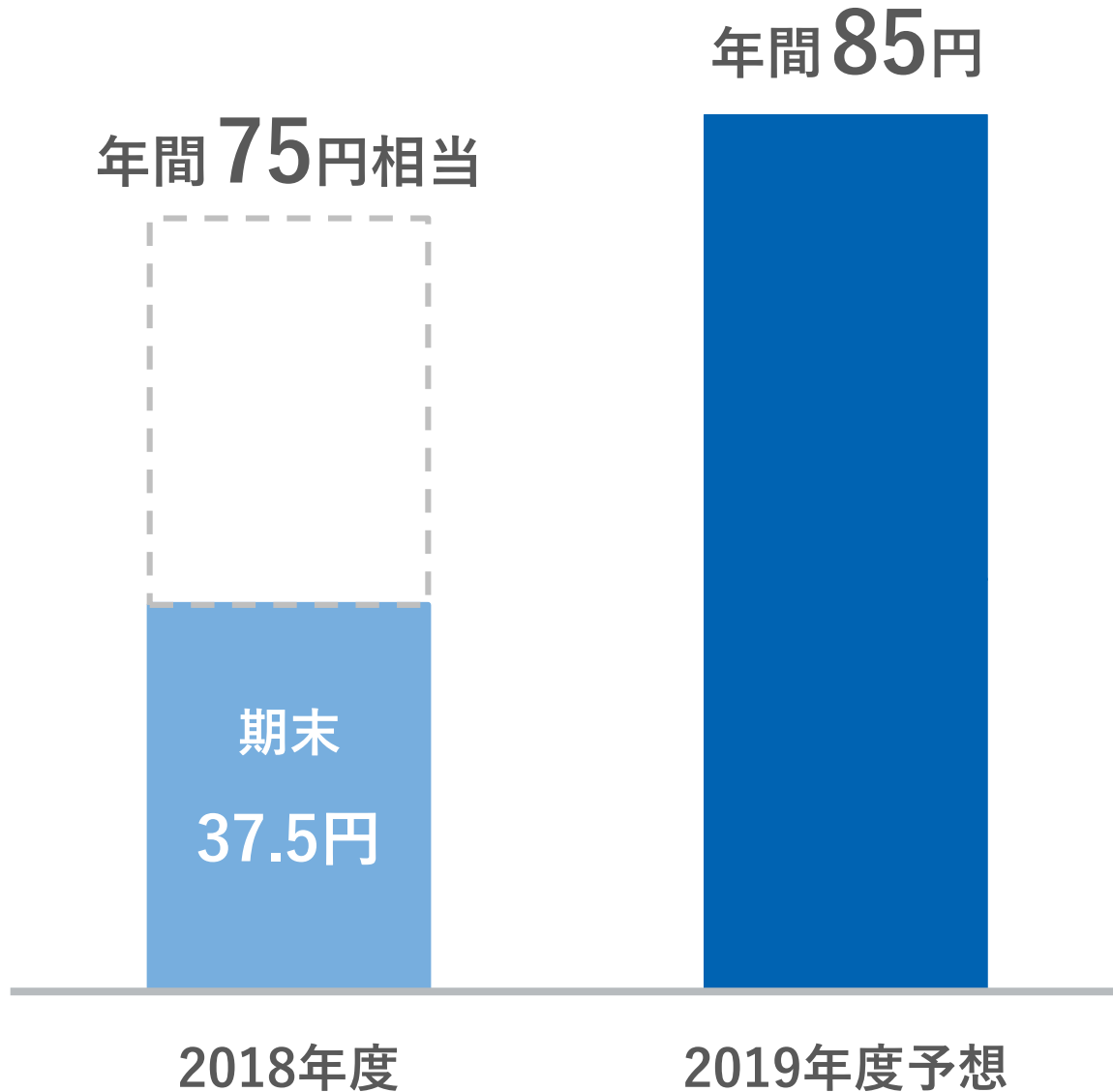
1

毎年、配当を維持・拡大

2

期首に予想配当を開示(連結配当性向85%程度)、
業績変動に関わらず着実に実行

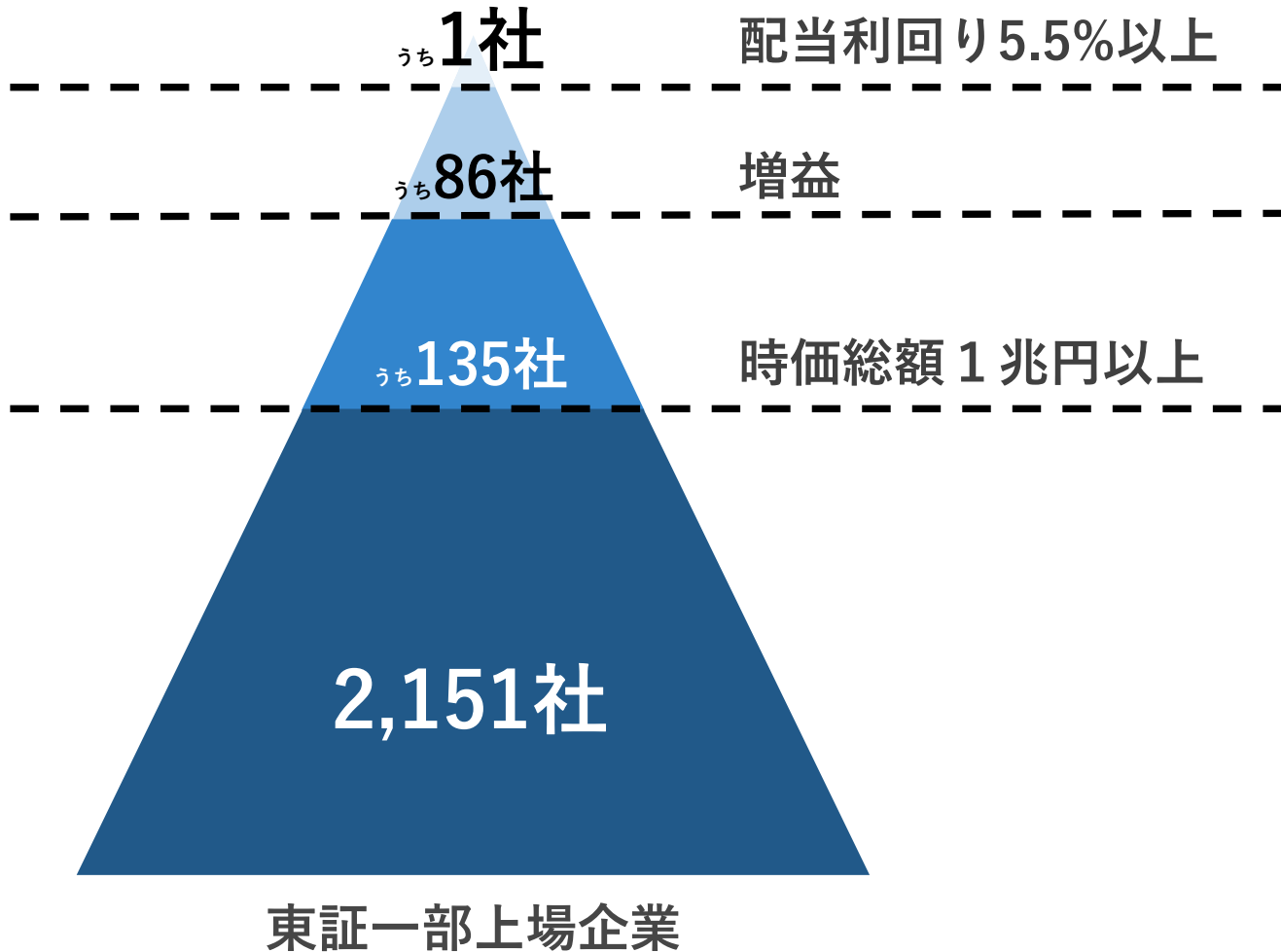
一株当たり配当金



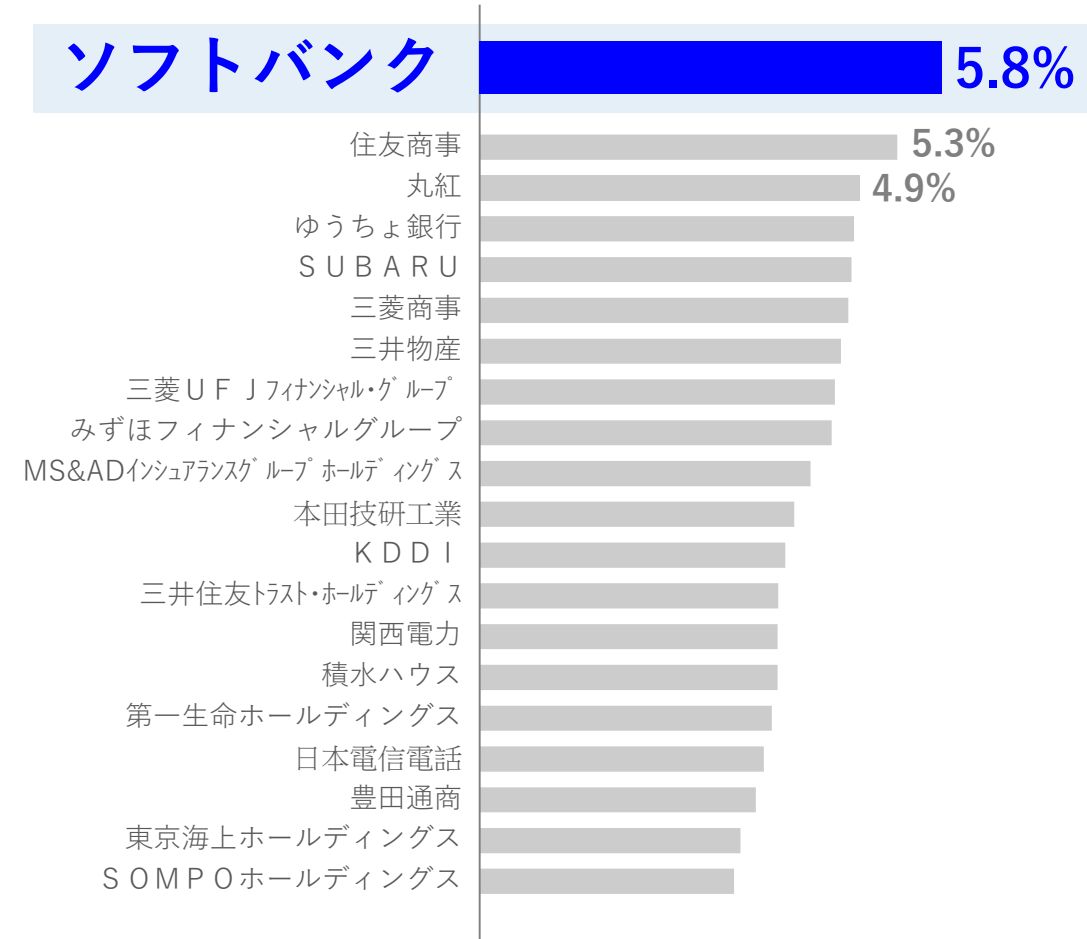
今期予想
85円

* 当社は2018年12月19日に上場したため、2018年度は半期分である
一株当たり37.5円(年間換算 75円)の配当を実施

配当利回りの状況



東証一部、時価総額1兆円超、増益企業の
配当利回り上位20社*



* 会社予想期末配当額および2019年9月30日終値に基づく（Bloomberg調べ）。
増益は発表値の2018年度と2019年度の純利益（予想）に基づく。未発表の会社は含めず。

ソフトバンクだからこそできるCSRへの取り組み

高精度センサーによる防災・減災

土砂災害危険箇所に
センサーを設置



電波を利用した距離測定により
高精度な斜面のズレ測定が可能

< 誤差数ミリ >*

* 検証結果より



画像はイメージ



情報革命で人々を幸せに

SoftBank



SoftBank